

太田博之マニフェストNEXT2016評価表(H24年4月～H27年10月まで)

	マニフェスト項目		数値目標・提案条例	数値結果(H26年)	これまでの活動	自己採点
約束1	学校を核とした協働のまちづくり 地域コミュニティの再生を行います	PTAと町内会の協力関係を構築し 地域の一体感を高めます			<p>一般質問で、小中学区の現状と今後の対応について再確認した。</p> <p>一般質問で、通学路の見直しと歩行者区域のライン引きが実現した。しかし、スクールゾーンの提案については、地域の方々の理解が得られなかった。</p> <p>一般質問で、町名整理を提案し実施に向け着手されたが、地域の方々の理解を得られず実施されていない。</p> <p>一般質問で、小中学校の学区単位で「地域コミュニティ協議会」の設置、及び具体的な事業を提案したが、実現できていない。</p> <p>市長マニフェストへ「地域担当職員制度の活性化」が盛り込まれた事は、誠に大きな成果であると考えている</p>	70
		地域の課題は地域で解決できる仕組みを構築します	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会加入率61%→70% ・自主防災組織率34.1%→60% 	<p>58.4%</p> <p>58.2%</p>	<p>一般質問や委員会を通じて取組んだ他、後期基本計画にも目標設定を数値化させることが出来た。しかし、町内会館(集会所)にAEDが配置されないなど、地域の人々の「つながり」は、希薄で今後ますます危機感を募らせている。</p> <p>一般質問で、災メール等災害(防災)の視点から、「災害時における三沢市内郵便局との相互協力のに関する覚書」の見直しが行われた。</p> <p>一般質問で、「生涯学習のまちづくり推進計画」を提案。現在、策定に着手されている。</p> <p>一般質問で、みさわ祭りの山車団地の移設、並びに予算化が実現したが、お祭りを実施している町内会の諸問題は未だ解決されていない。</p> <p>一般質問で、「市民活動保険制度(ボランティア保険)」導入を提案、H27年6月から保険が適用されている。</p> <p>一般質問で、行政の行う「出前講座」の見直しを提案。現在、内容を精査し、より市民が参加しやすい新たな講座の開設に向け検討をしている。</p> <p>自主防災組織の組織率が、概ね目標値に達した事は誠に喜ばしい</p>	70
	学校に地域住民、地域企業が関わ れる「開かれた学校」を作ります				<p>一般質問で、副読本の改訂を提案しH27年3月に約10年ぶりに改訂発行された。</p> <p>一般質問で、三沢市の採用している教科書を市図書館へ配置し、閲覧できるように提案。来年度実施されることになった。</p> <p>一般質問で、小中学校の学区単位で「地域コミュニティ協議会」の設置、及び具体的な事業を提案したが、実現できていない。</p> <p>一般質問で、「職場参観日」の実施を提案。来年度、教育良委員会並びに市長部局が実施に向け検討に入っている</p> <p>議員としてではないが、キャリア教育に関わる委員会「あおもりで「生きる・働く」を学ぶ上北地区実行委員会」の委員長として、学校と企業の連携について積極的に取り組んできた。そのような中、平成27年度 第9回文部科学大臣賞表彰を授賞した。正に、「開かれた学校」の大きな成果であると考えている</p>	85

	マニフェスト項目	数値目標・提案条例	数値結果(H26年)	これまでの活動	自己採点	
約束2	地域資源を活用したまちづくり、雇用創出を行います	三沢基地の災害時の後方支援基地構想を推進します		一般質問で、三沢基地を鑑み、原子力オフサイトセンターの誘致が決まった。また、この事は東北議長会の重点要望事項に採択され、現在も国へ要請している。	60	
		三沢病院(がん拠点病院)の諸問題を解決すると共に、がん検診の受診率を向上させます	■集団検診(H23年度現在) ・肺がん検診25.3%→50% ・大腸がん検診25.4%→50% ・胃がん検診22.6%→50% ・子宮がん検診23.2%→50% ・乳がん検診25.2%→50% ■がん検診(クーポン券・H23年12月現在) ・子宮がん検診16.24%→50% ・大腸がん検診12.57%→50% ・乳がん検診19.75%→50%	H27年11月末現在 21.7% 22.5% 19.3% 18.6% 20.2% H26年10月末現在 13.2% 9.4% 20.9%	後期基本計画に数値目標が掲げられた。 「三沢市健康都市宣言」が実現した。 三沢市保健健康センターの駐車場整備が実現した(現在工事中) 三沢市保健健康センターでの検診受付が土・日祭日出来なかったが、現在、中心市街地のスカイプラザで受付が出来るようになった。 集団検診・がん検診とも目標を達成するどころか、数値が下がってしまった。この事は、猛省しなければならないと同時に、視点を変えて取組まなければならない。	70
				三沢市食肉処理センターの大規模工事に関わる事業拡大で地元雇用の拡大を求めて来たが、三沢市民の雇用は少数に留まっている。 議員としてではないが、所属しているNPO法人の活動の一環で、「市民提案事業」の制度を活用し、『(仮称)みさわ温泉の日』を2年間に亘り実施。現在は、毎月第2土曜日が『温泉・家族の日』として、2温泉業者が家族での入浴を無料化している。	60	
約束3	議会が変わり、市民が主役の政治を実現します	議会の情報公開と住民参加を進め、「開かれた議会」を目指します		10年ぶりに三沢市議会広報誌「きずな」が発行され、委員長として日々情報公開に努めている。 自身の公式HP・フェイスブック・LINE・ツイッターなど、SNSを通じて、ほぼ毎日議員の活動、議会の内容について情報発信している。 市長マニフェストへ念願だった「三沢版コミュニティスクールの導入」が盛り込まれた事は、大きな成果であると思う。 H26年第4回定例会から、自身の一般質問の動画をHPで配信している。	90	
		市民ニーズに基づいた政策提案条例の制定を行います	・議会基本条例の制定 ・政治倫理条例(口利き禁止)の制定		一部の議員の反対があり、議論すらできなかったが、改選後に「政務活動費」と共に議論することが議運で決定した。 様々な条例案について検討したが、議員討議まで進めることが出来なかった。 現在、取り扱いについて議運で検討している。	60
		議会と執行部が緊張感を持った協調関係を保ちます			政治倫理条例の条文に、その手法を書き込む予定だが具体的な議論は未だされていない。	50

マニフェスト以外の取り組み

○一般質問で、スクールソーシャルワーカーの配置がなされた

○選挙の投票率向上に向けた取り組み・選挙管理委員会の意識改革に説教的に取り組んだ

・一般質問で、シチズンシップ(主権者教育)の推進を提案した

・不在者投票所が2階から1階へ移設された

・不在者投票所の増設の検討に入った

・学校での模擬投票が事業化したが実施は見送られた

・投票時間の見直しを求めたが、見送られた

○暴力団排除条例の制定を提案し制定された※青森県では三沢市だけが、条例の対象者を「利害関係者」から「親密な関係にある者」と対象を拡大させることが出来た

○一般質問で、「公共施設白書」の策定を求めて来たが、現在、策定に着手されている

○ゼロ予算事業の提案で、「スポンサーAED配置事業」、「行政財産使用の入札制度」の導入が実現した

○念願だった、三沢市のフェイスブックページが開設された。しかし、公共wi-fiは実現していない

○青森市以外の消費者相談センターが廃止されることから、三沢市独自で開設することを提案、H25年から開設されることになった

○東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致を提案し、現在オールMISAWAで取り組んでいる

○コンビニエンスストアの活用で住民票などの取得は実現していないが、(仮称)まちなかAEDステーション事業は、実現に向け検討に入っている

○民生常任委員長として、「手話言語法」に関わる請願審査で、市議会では初めて参考人招致で手話通訳で会議を開催した。なお、マックTVでは、議決の放送の際に手話通訳が画面に組み込まれた。

※一般質問を病欠、体調不良で2回実施できなかった。